

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2025/2/10現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）	
金融商品の名称・種類	ジャパン半導体株式ファンド・証券投資信託
組成会社（運用会社）	日興アセットマネジメント株式会社
販売委託元	日興アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主として、わが国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）の中から、半導体に関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 半導体関連とは、具体的にどのような業種・企業が投資対象となっていますか？
 - ② 個別に株式投資をすることと比較して、どのようなメリットがありますか？
 - ③ 日経平均などの指数に投資する商品と比べて、どちらがよいですか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）	
損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。 主なリスクは以下の通りです。 【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【為替変動リスク】 ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
過去1年間の収益率	該当事項はありません。
過去5年間の収益率	該当事項はありません。

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

- （質問）
- ④ 中長期的にも、値上がりは期待できますか？
 - ⑤ ベンチマークとは、どのようなものですか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	* インターネット専用商品	1.65%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.584%（税抜1.44%） 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用」に記載しています。

（質問） ⑥ 手数料を考慮して、ネット取引を必須と考えるべきでしょうか？

⑦ 手数料の高いファンドは、選択しない方が良いですか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	当ファンドは無期限です。但し、繰上償還することがあります。
解約時手数料	ありません。
解約の制限事項	ファンドの規模および商品性格などにに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。

※ 詳細は、交付目論見書の「お申込みメモ」に記載しています。

（質問） ⑧ 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

手数料	当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、委託会社から年率0.77%（税込み）の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。
-----	---

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

（質問） ⑨ アフターフォローには、どのように取り組んでいますか？

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	個人投資家の場合、分配時および換金時・償還時に、所得税および地方税がかかる場合があります。なお、NISA（ニーサ）をご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。 新NISA（成長投資枠）でご利用できます。
-------	--

※ 詳細は、交付目論見書の「税金」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】

（URL①） <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】

（URL②） <https://www.nikkoam.com/fund/detail/645105>

※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

ジャパン半導体株式ファンド・証券投資信託

	<質問>	<回答例>
①	半導体関連とは、具体的にどのような業種・企業が投資対象となっていますか？	半導体製造装置や半導体材料に係わる電気機器・機械などの業種を主体として、著名な上場企業が投資対象となっています。
②	個別に株式投資をすることと比較して、どのようなメリットがありますか？	単一株式への投資と比べて、限られた投資資金の範囲で、複数の銘柄に投資ができるため、リスク分散効果を得られます。
③	日経平均などの指数に投資する商品と比べて、どちらがよいですか？	お客様の投資資産の構成にもよるため、どちらが良いとは決まりませんが、2つの要素が各々あることも有益です。
④	中長期的にも、値上がりは期待できますか？	将来にわたっても成長の期待できる業種・企業を選定していますが、株式市場の下落局面などが発生することは留意しておく必要があります。
⑤	ベンチマークとは、どのようなものですか？	本商品が、価格変動の基準とする指標です。完全にこれに連動させるものではありませんが、相場の上昇・下落局面での運用成果の一つの基準となります。
⑥	手数料を考慮して、ネット取引を必須と考えるべきでしょうか？	手数料が低いことに着目すればその通りですが、担当者との対面相談を必要とされるお客様には、コストを上回る効用をいただけるように努めております。
⑦	手数料の高いファンドは、選択しない方がよいですか？	アクティブ型など、投資対象銘柄の選定と入替えにきめ細かく注力するファンドは、一般的に手数料が高くなります。中長期的な運用成果への対価とご認識ください。
⑧	繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。	ファンドの純資産額が著しく減少した場合が想定されますが、ファンド受益者には書面通知されて、総口数の過半数同意があってはじめて、実施されます。
⑨	アフターフォローには、どのように取り組んでいますか？	すべてのお客様に、面談その他で定期的にフォローを行なうことを目指しています。お客様の疑問・不安にお応えできるように、今後も充実に努めてまいります。